

令和4年度 第2回番組審議会

◇日時 2022年9月8日(木) 10時40分～12時00分

◇場所 テレビトクシマ 新館4階(徳島市新蔵町1丁目11)

◇出席者 ○委員(5名) ○ケーブルテレビ徳島(3名)

会長	吉田 恵子 氏	代表取締役社長	梅田 真司
副会長	丸茂 晃裕 氏	コンテンツ事業部 部長	中山 哲也
委員	上野 由加 氏	同部 番組評価・企画担当部長	
委員	井内 泰 氏	(事務局)	元木 秀章
委員	松島 真由美 氏		

◇番組に対するご意見(一部抜粋)

①「小さな村の大家族～伊座利の365日～」

・ドキュメンタリーだから当然だが、「いい意味」だけでなく「悪い意味」でも非常にリアルな内容だった。子どもたちは元気があって生き生きとしている反面、大人のインタビューはあまり元気が感じられず弱気な様子で、そうしたマイナスの面が子どもたちに影響しなければ、と感じた。

・子どもたちが作った校歌で「何にもないけど(何かある…)」という歌詞が出てきた。ここではたくさんの伊勢エビが獲れ、また(県外の旅行者が驚くほどの)美味しい魚料理もある中で、こうした地元の良さがあまり認識されていないことが残念に思えた。

・先般、県民による自分たちの都道府県の魅力度ランキングが公表されたが、徳島県は全国最下位だった。校歌の歌詞「何にもない」に通じるところがあり、なんとかしたいと感じた。

・これは観光PR番組ではなくドキュメンタリー番組なので、制作側としてはリアルな現実を映し出してもっともだが、その現実の中にはマイナスイメージが漂っているような気がした。

・見る側からすると、番組から何かしらのイメージを感じ取ったり、また植え付けられたりするので、伊座利の良さや素敵などところをもっと取り上げられてもいいように感じた。県民が気軽に行けるようなきっかけになればと思う。

・現在の伊座利の生活やありのままの様子を知ることができて良かった。

・「小さな村の大家族」というタイトルだが、地元住民と移住者の関わりや関係性がいまいち見えにくいと感じた。

②「法律ほっとガイダンス」(第5回 弁護士の裁判・紛争以外の事業者向けサービス)

・(説明される弁護士にもよると思うが)非常に親しみやすい口調で良かったと思う。

・プレゼン上手で、内容が分かりやすかった。

・こうした内容なら弁護士のほかにも、例えば行政書士や司法書士、税理士などで同様の番組ができれば敷居が低くなり、身近に感じやすくなるのではと感じた。

・[当社]法律番組はテーマが広範囲のため、シリーズ化して制作しているが、視聴者が見たいとき、また必要に迫られたときにいつでも見られるようオンデマンドの視聴環境を整え、ラインナップを整備していきたい。